

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！

スミシキ 乗務停止処分計19名 車両故障-細渡りダイヤ-当局の手配ミス 大改矛盾・当局責任を乗務員におしつけ

18時間も食事ぬきで運転しろというのか！

三月三日、他の列車の車両故障により、東金線大網駅に遅れて到着した乗務員が、当直の許可を得て食事をとった事について、マスコミが大騒ぎしたことを理由に、当局は自らの責任を全て当該乗務員におしつけ、あらゆることか乗務停止にするという許しがたい暴挙を行った。満身に休憩も食事時間も無いダイヤを強制し、起るべくして起きた問題の責任を一切とろうとせず、自己保身に窮々とするふざけ切った当局を断じて許すな。

事態の経過はこうだ！

乗務員には一点の落ち度もない！
三月三日の事態について、「マスコミは一斉に「通勤電車ほったらかし」「乗客カンカン」とセンサーショナルに騒ぎ立て、あたかも乗務員が職務を放棄したかのようなデマ宣伝を行い、当局も又、この尻馬に乗り「乗務員本来の職責にもとる行為だ。指導を強化する」とし、乗務員に責任があるかのごとくデッチ上げ、「乗務停止」を強行した。

事態の経過はこうだ。

- ① 他列車の車両故障の影響で、当該乗務員が便乗する一七七七F列車、大網に五二分延着。
- ② 直ちに同駅乗務員詰所より当直へ電話し「今、食事をとらないと明朝九時十三分千葉着まで食事がとれないので食事したい」という。
- ③ 当直は「いそいで食事をしてくれ」と返答し、食事後連絡を取ることを確認。
- ④ 構内立ち食いソバが閉店していたため、駅前のラーメン屋に行く。
- ⑤ 直後に駅員が来て、「早く作ってくれ」と店に頼む。
- ⑥ 食べ始めると客が来て食べる脇で騒ぐので半分以上残したまま駅へ帰り、当直に「どうなっているんだ」と確認。当直は「一切わかりません」と返答。
- ⑦ そのまま列車にむかうと乗客十数人にとり囲まれた。
- ⑧ 時刻表を出して説明したら大部分の乗客は納得し列車に乗った。
- ⑨ 大網を五一分遅れで発車
- ⑩ 最終到着後、空腹のまま就寝、勤務終了後事情聴取されるが、十二時三分、次の勤務を確認し点呼を終了。
- ⑪ 六日に出勤した時点で「乗務停止」を通告される、というものだ。

続発する故障！食事・休息もとれない細渡り乗務強要の「3・3ダイ改」強行にこそ問題がある！

※ 当直の指示をあおぎ、当然の食事

問題の第一は、当該乗務員は決められた通り当直の指示をあおぎ確認の上で行動したにもかかわらず、乗務員に責任をおしつけ乗務停止したこと。

※ 当然の対策義務すら怠った当局こそ問題

第二は、当局は、乗務員が運転に専念できるように食事・休憩・睡眠の確保等、適切な措置を行う義務がある（通常時でなければなおさら当局の適切な配慮が必要）にもかかわらず、それを怠った責任をなんら問おうとしないこと。すなわち、当該乗務員の便乗列車が遅れることがわかっていながら、代替乗務員を送りこむ等、正常運行の確保、乗客を大切にしようとする立場からして誰でも考える当然の措置すらとっていないこと。

当該ダイヤは大網に到着直後食事をとらねば、十五時三九分の出勤以降、翌朝の九時十三分まで食事をとれないダイヤであるにもかかわらず弁当やパンの手配もせず、空腹のまま働けということ。

※ 18時間も食事ぬきで運転しろというのか！

第三に、内容をよく知らず、センサーショナルな記事を求めるマスコミ報道をいいことに、それを理由に乗務員を処分するという本末転倒したやり方。

※ 乗務員の説明にほとんどの乗客も納得

第四に、三月四日の段階で乗務停止を決めておきながら、六日に出勤するまで本人に知らせもしない。勤務の取り扱い上のデタラメぶり。
第五に、自ら（区長）の自己保身のために、当該当直助役が「申し訳けなかった」と意志表示することを止めているという許しがたい事態等々、数えたらきりが無いほどである。

乗務員に責任をおしつけ 自己保身をはかる当局を許すな

これは決して、当該の千転乗務員だけの問題ではない。「61・3ダイ改」強行以降、目茶苦茶なダイヤでは、何らかの理由で少しでも遅れれば同様の事態が発生する。その責任を全て労働者におしつけられてたまるか。

「61・3ダイ改」強行の矛盾を徹底的に暴き、自己保身に窮々とする反動区長・職制を許さず、断固反撃に起とう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！